伝統の美と技の共演

ます。匠の世界を感じてみませんか。 中、各工芸士による解説や体験会なども実施し するのは、長年市内で創作活動を続け、その優 定された6人の技と伝統の美の世界です。期間 介するため、文化人展を開催します。今回紹介 れた技術が認められ、千葉県伝統的工芸品に指 問☎300·8020文化振興課 中台 實氏 行徳地域の神輿作りは、 江戸時代から盛んで、屋根 が大きく張出し、胴が細くメリ ハリのある形が特徴とされ、 「関東型」とも呼ばれていま

※バスの乗車には、期間中に右記4館の窓口で配布する専用の乗車

分が必要です。

れるスタンプラリーにもご活用ください。

市にゆかりのある文化人や芸術家を広く紹

■3月5日日~27日日 (3月21日(月)以外の月曜日と22日(火)休館)

場芳澤ガーデンギャラリー

¥一般300円、シルバー(65歳以上)・ 団体(25人以上)240円、中学生以 下無料(催しによっては別途費用が かかる場合有)

■3月5日 ■~20日 国の土・日曜日 芳澤ガーデンギャラリー、文学ミュージアム、 設を 東山魁 無料バス 展の開催中に行わ 夷記念館、県立現





す。

行徳神輿解説とお囃子

■3月12日(土)、13日(日)午後1時~4時

圖中台實氏 他

藪崎 保治氏

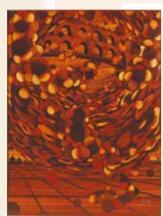
藪崎氏の木彫刻は、堂宮 彫刻の技法を用い、一木から 彫って、欄間、神輿、山車、向 拝などの彫刻を創作します。

木彫刻解説

■3月13日(日)午後2時~3時 讃藪崎保治氏

●これまでの「広報いちかわ」が市公式Webサイト・検索 広報





戸島 甲喜氏

木象嵌は、切り抜かれた 色合いの異なる木片を、地 板に空けた穴にはめ込む工 程を繰り返し、模様や絵画等 を作成する工芸技法です。

江戸つまみかんざしの匠





穂積 実氏

つまみかんざしは、江戸時代) 初期、上方から江戸に伝わったと され、小さく刻まれた羽二重をつ まんでつくることに由来します。

江戸つまみかんざし体験

■3月19日(土)、20日(日)午後2時~3時

【10歳以上の方、各日6人

■2月8日(月)から☎300-8020文化振興課

¥500円 講穂積実氏 他

描友禅の匠

伊藤 知子氏

▲撮影:Akio



友禅染めは、京都の扇絵師 宮崎友禅斎が 小袖に小紋模様の図案を描いたことが発祥と いわれ、その後、江戸時代に絵師や染師が京か ら江戸に移り住み、各地方の技術・技法が伝承 される中、江戸特有の粋・さび等の洗練された 文化のもとで「東京手描友禅」は育まれました。

▲撮影:Akio 手描友禅体験

■3月5日(土)、6日(日)午後1時~4時

【10歳以上の方、各日15人

■2月8日(月)から☎300-8020文化振興課

¥2,200~2,500円 **講**伊藤知子氏

屏風の匠





田島 義弘氏

屏風とは、部屋の仕切り や装飾に用いる家具のこと であり、「風を屏ぐ」とうい言 葉に由来します。

屏風解説

■3月12日(土)午後2時~3時 聞田島義弘氏